

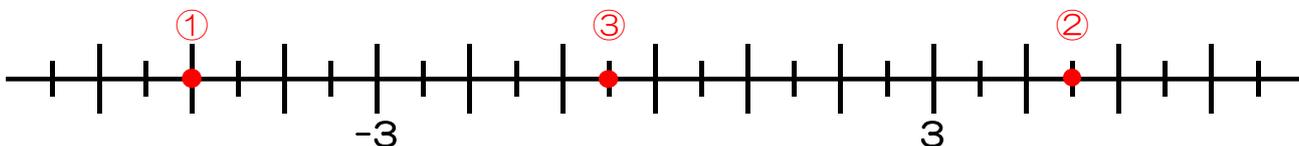
正負の数 No.3

組 番 氏名 教師用

1 復習問題（個人→一斉）

(1) 下の数直線上で、次の数に対応する点をしるしましょう。

- ① -5 , ② $+\frac{9}{2}$, ③ -0.5



※ しるした点が ① ~ ③ のどの数に対応しているか示しましょう。

(2) 次の各組の数の大小を 不等号 を使って表しましょう。

- ① -1 , -2 ② -0.7 , -0.3 ③ 0 , $-\frac{7}{2}$, -3

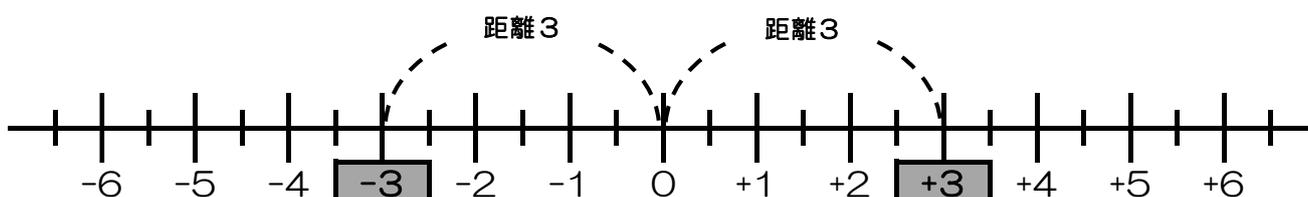
① $-2 < -1$	② $-0.7 < -0.3$	③ $-\frac{7}{2} < -3 < 0$
-------------	-----------------	---------------------------

前回の授業では数直線を負の数の範囲まで広げ、それを使って数の大小を考えました。
今回の授業では数の大小を“原点からの距離”という新たな視点で考えます。

今日のめあて

数直線上における原点からの距離をもとに数の大小を考えてみよう。

2 用語の確認（一斉）



- ① 絶対値 … 数直線上の ある数 と 原点（0のこと）との距離のこと
方向を考えず単純に距離だけを表すので、符号はつけずに表す
例1：数直線上の $+3$ は原点から 3 の距離にあるので、 $+3$ の ① は 3 である
例2：数直線上の -3 も原点から 3 の距離にあるので、 -3 の ① も 3 である
- 例1と2から、逆に ① が 3 である数は $+3$ と -3 の2つである

正負の数 No.3

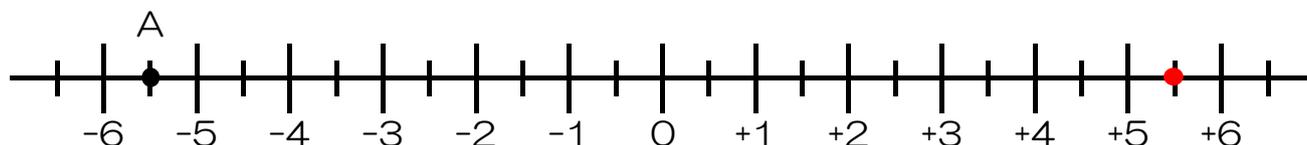
組 番 氏名 教師用

③ 絶対値を使って数の大小を考えてみよう。(班→一斉)

問1：次の数の絶対値を求めましょう。

(1) -6 , (2) $+\frac{1}{3}$, (3) -4.5 , (4) 0

問2：下の数直線上で、点Aと絶対値が等しい数に対応する点をしるしましょう。



問3：絶対値が 8 である数を求めましょう。

問4：下の各選択肢から適切なものを選びましょう。

(1) 正の数は、絶対値が大きい数ほど (大きい) ・ 小さい)。

(2) 負の数は、絶対値が大きい数ほど (大きい) ・ (小さい) 。

問5： $-\frac{2}{5}$ と $-\frac{1}{2}$ の大小を、「絶対値」という言葉を使って説明しましょう。

問1	(1) 6	(2) $\frac{1}{3}$	(3) 4.5	(4) 0
問3	-8 と $+8$			
問5	<ul style="list-style-type: none"> • $-\frac{2}{5}$ の絶対値は $\frac{2}{5}$ (= 0.4) である。 • $-\frac{1}{2}$ の絶対値は $\frac{1}{2}$ (= 0.5) である。 • $\frac{2}{5} < \frac{1}{2}$ となり、$-\frac{2}{5}$ より $-\frac{1}{2}$ の方が絶対値が大きい。 • 負の数は絶対値が大きいほど小さいので、$-\frac{2}{5}$ より $-\frac{1}{2}$ の方が小さい。 			

振り返り (わかったこと・わからなかったこと・考えたことなど)

今日の理解度： A B C (振り返りが終わったら、予習 → 問題集)

次回の授業では、身の回りの様々なことを 正負の数 を使って表す方法について考えます。

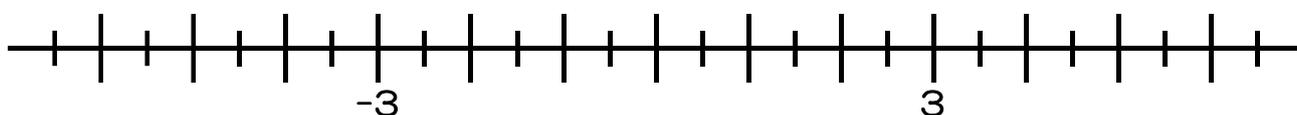
正負の数 No.3

組 番 氏名

1 復習問題

(1) 下の数直線上で、次の数に対応する点をしるしましょう。

- ① -5 , ② $+\frac{9}{2}$, ③ -0.5



※ しるした点が ① ~ ③ のどの数に対応しているか示しましょう。

(2) 次の各組の数の大きさを 不等号 を使って表しましょう。

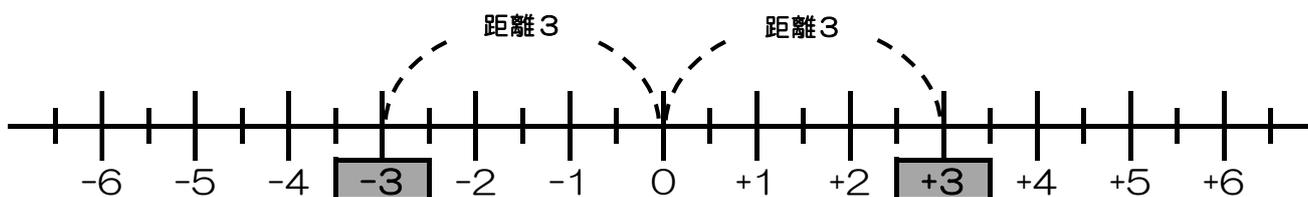
- ① -1 , -2 ② -0.7 , -0.3 ③ 0 , $-\frac{7}{2}$, -3

①	②	③
---	---	---

前回の授業では数直線を負の数の範囲まで広げ、それを使って数の大小を考えました。
今回の授業では数の大きさを “ 原点からの距離 ” という新たな視点で考えます。

今日のめあて

2 用語の確認



- ① _____ … 数直線上の ある数 と 原点 (0 のこと) との距離のこと
方向を考えず単純に距離だけを表すので、符号はつけずに表す
例1 : 数直線上の $+3$ は原点から 3 の距離にあるので、 $+3$ の ① は 3 である
例2 : 数直線上の -3 も原点から 3 の距離にあるので、 -3 の ① も 3 である
- 例1と2から、逆に ① が 3 である数は _____ と _____ の2つである

正負の数 No.3

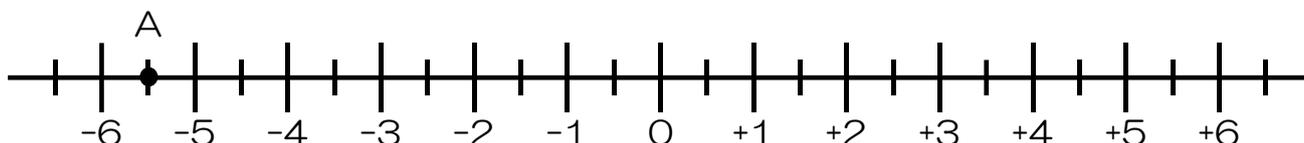
組 番 氏名

③ 絶対値を使って数の大小を考えてみよう。

問1：次の数の絶対値を求めましょう。

(1) -6 , (2) $+\frac{1}{3}$, (3) -4.5 , (4) 0

問2：下の数直線上で、点Aと絶対値が等しい数に対応する点をしるしましょう。



問3：絶対値が8である数を求めましょう。

問4：下の各選択肢から適切なものを選びましょう。

(1) 正の数は、絶対値が大きい数ほど（大きい・小さい）。

(2) 負の数は、絶対値が大きい数ほど（大きい・小さい）。

問5： $-\frac{2}{5}$ と $-\frac{1}{2}$ の大小を、「絶対値」という言葉を使って説明しましょう。

問1	(1)	(2)	(3)	(4)
問3				
問5				

振り返り（わかったこと・わからなかったこと・考えたことなど）

今日の理解度： A B C （振り返りが終わったら、予習 → 問題集）

次回の授業では、身の回りの様々なことを正負の数を使って表す方法について考えます。